

編集後記

高齢化と少子化の進展や経済の低成長によって、年金改革は日本に限らず、諸外国でも重要な政策課題になっています。本号では、「公的年金・私的年金の基本問題」と題し、年金における公私の役割分担や一元化問題、民営化、企業年金の問題などをとりあげました。

わが国の年金制度は、現役世代が必ず加入することによって、安定的な保険集団をつくり、「世代と世代の助け合い」がうたわれています。しかし、こうした年金を支える側の若者の年金に対する興味、関心は必ずしも高いとはいえず、一方で自分たちの世代では、年金をもらえないのではないかという不信感は強いという印象があります。次世代を担う若者にどのようにして年金に対する理解を求めているのかも、工夫が必要であると思われます。

なお、本号より編集幹事に新たに福田が加わりました。よろしく願い申し上げます。

(丸山)

編集委員長

塩野谷祐一（国立社会保障・人口問題研究所長）

編集委員

井堀利宏（東京大学教授）

岩村正彦（東京大学教授）

漆博雄（上智大学教授）

貝塚啓明（中央大学教授）

佐野陽子（東京国際大学教授）

高木安雄（仙台白百合女子大学教授）

栃本一三郎（上智大学助教授）

平岡公一（お茶の水女子大学助教授）

広井良典（千葉大学助教授）

宮澤健一（社会保障制度審議会会長）

宮島洋（東京大学教授）

山崎泰彦（上智大学教授）

阿藤誠（国立社会保障・人口問題研究所副所長）

府川哲夫（同研究所・社会保障基礎理論研究部長）

姫野孝雄（同研究所・社会保障応用分析研究部長）

編集幹事

福田素生（同研究所・社会保障基礎理論研究部第1室長）

白波瀬佐和子（同研究所・社会保障応用分析研究部第2室長）

金子能宏（同研究所・社会保障応用分析研究部第3室長）

丸山桂（同研究所・社会保障基礎理論研究部研究員）

角田由佳（同研究所・社会保障応用分析研究部研究員）

季刊

社会保障研究 Vol. 33, No. 2, Autumn 1997（通巻137号）

平成9年9月25日 発行

定価 2,625 円 本体 2,500 円

編集

国立社会保障・人口問題研究所

〒100 東京都千代田区霞が関1丁目2番3号

中央合同庁舎第5号館別館8階

電話 (03) 3595-2984

発売所

財団法人 日本学会事務センター

〒113 東京都文京区本駒込5丁目16番9号

学会センターC21

電話 (03)5814-5811/FAX (03)5814-5822

制作 (株) UTP 制作センター